

## 社会科学習ワークシート⑪

教科書 P50～51 を読んで考えよう。

### 復旧・復興に向けた国の支援

言葉の意味を調べよう。

国(政府)は、(県)や(市)と協力して(復旧)を進めるために、(国会)での話し合いを経て、(第一次補正予算案)を成立させた。

これにより、(仮設住宅)をつくって、(被災)した人々が、そこへ移ることができるようにした。

そして、(水道)、(ガス)、(電気)などの(ライフライン)を復旧させたり、まち中にあふれる大量の(がれき)を撤去したりして、まちの(整備)を行った。

また、東日本大震災の(復興)をすみやかに進めるために、国会での話し合いを経て、(東日本大震災復興基本法)を成立させた。

さらに、この法律にもとづいた復興を(計画的)に進めるため、(復興庁)という新しい役者を設けた。

・国会で決められた(予算)や(法律)にもとづいて、(復旧)・(復興)が進められている。

このように国は、必要な(法律)をすみやかに制定したり、特別な(予算)を立てたりして、被災地の(支援)を行う。これを受けて、県や市は、具体的な取り組みを行うことができる。

こうした予算には、国民や企業から集めた(税金)が使われる。税金には、働く人の(収入)にかかる税金、ものを(買ったとき)にかかる税金(消費税)、会社の(もうけ)にかかる税金などがある。

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、国民や企業は東日本大震災からの復興に役立てるための特別な税金を国に納めることになっている(特別復興税)。

- ・わたしたちが納めている(消費税)も、(復旧・復興)に役立っている。
- ・税金は、みんなの生活が(よりよくなるように)使われている。